

奥多摩小中沢遡行&山菜山行

山行日：2016年5月6日

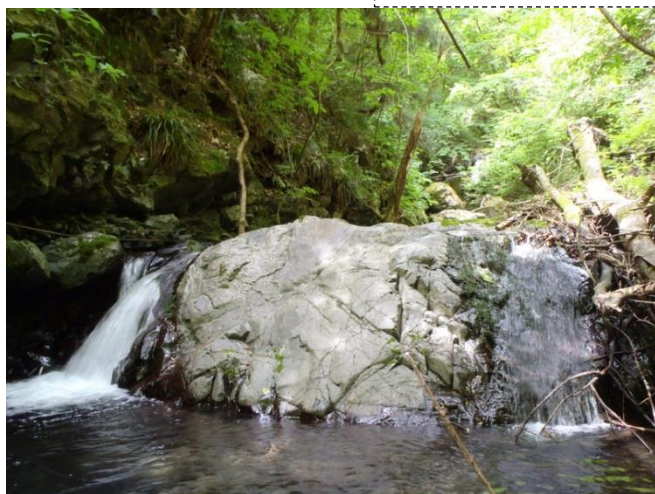
参加者：C L辻本 富樫(富)

コース：奥多摩むかし道と小中沢合流点～小中沢遡行～co780m 打切り～仕事道～ハンノキ尾根～

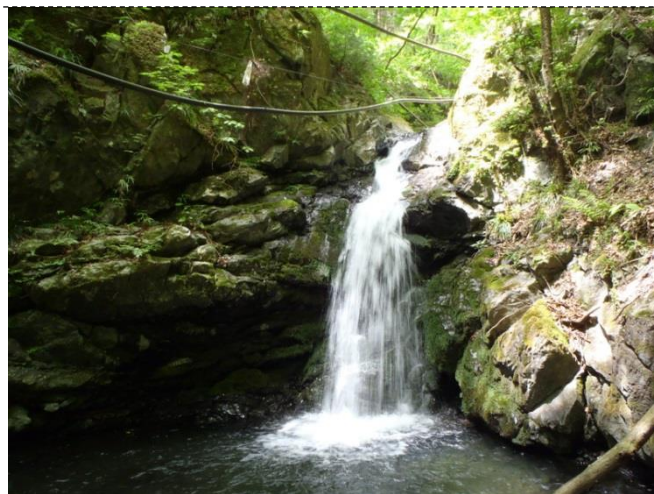
Co380m駐車地点

5月1日に行った読図山行でワラビをいっぱい採取し、とても美味しくいただいた。これに味を占め、小中沢からワラビ原に行く計画を立てた。同行者は富樫(富)さん。6日は平日なので首都高の渋滞を考えて出発時間を早めたが、あっけなく八王子に着き石川PAで朝食を摂る。奥多摩むかし道の途中にあるきれいなトイレ前で入渓準備をし、10時過ぎ小中沢に入った。二人とも今年の初沢だ。富樫さんは野麦峠の藪漕ぎ山行の疲れも見せず、沢をゆっくり楽しみながら歩いている。小中沢は山葵田が多い沢だと聞いていたのだが、普通に沢登りが楽しめる沢だった。この時期はやはり水量が多い。できるだけ水流沿いに行こうとするが釜が深そうで、入るのが嫌と巻が多くなる。左のバンドを上がった滝では、落ち口が滑るので、ザイルで確保。ザイルを出したのはここだけ。

カメラを忘れたのでブログ「ザイルと焚き火と焼酎と」から写真をお借りしました。
<http://blog.goo.ne.jp/1940sachiko/e/f2e591be8b0a57eb05c109c4f78fcca5>



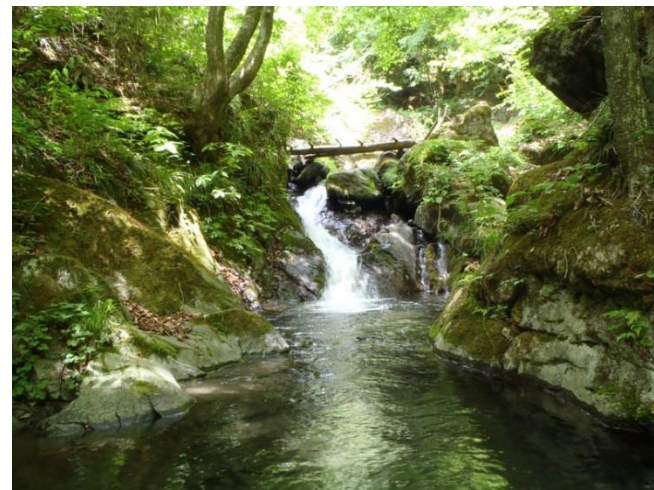
最初の小滝は釜が嫌！



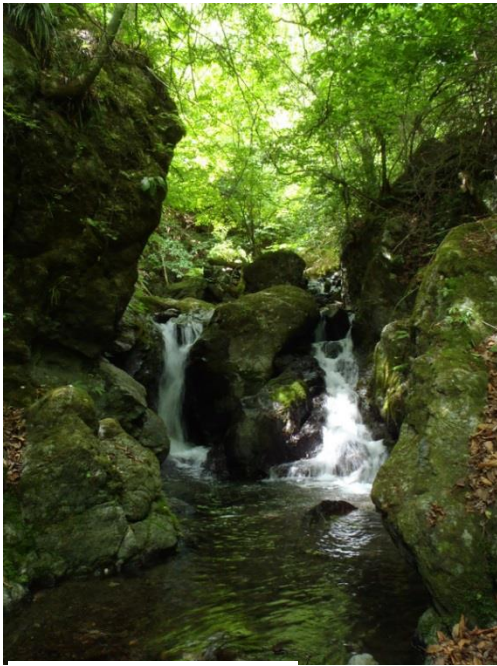
左のバンドを上がる。落ち口が滑る



小河内ダム建設に使用された鉄道跡



釜 シーズン初めは入りたくない、左を巻く



右のナメを上げる



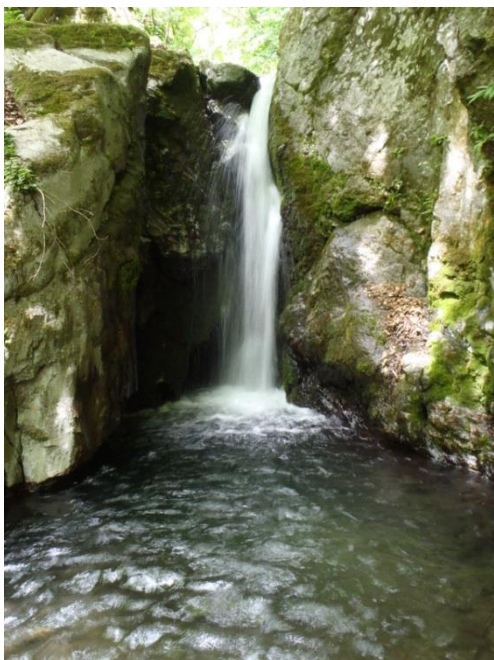
水流沿いに取付いたが、水浸しになった。戻って右から



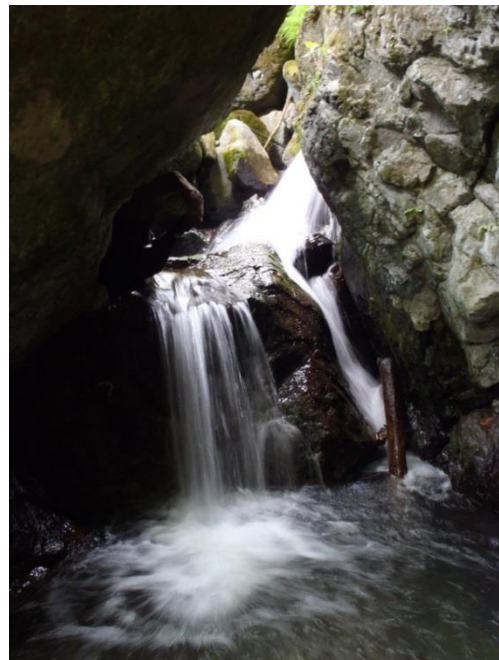
簡単だけど羽虫でいっぱい



浅瀬を 7 に入って越える



登れない。左から巻き



釜に入れば突っ張って登れる。嫌

釜を逃げ、滑る岩にいじめられ、羽虫にいじめられしながら、co780mの橋まで遡行した。ここで沢支度を外し昼食と現在地確認をして、コンパスをワラビ原に向ける。100mほど仕事道を登り、見覚えのある枝道に入り、ピッタリポンでワラビ原に出た。

ワラビはずい分と大きくなっていた。やはり1週間前がピークだったようだが、草むらに目を凝らして二人分には十分のワラビを確保した。雨がパラついてきたので早々に下山。もえぎの湯(780円！)に入って帰葉の途についた。来年は沢グループ、ハイキンググループでワラビ原に行きたいものだ。

辻本：記